

第8回 全国被災地 語り部シンポジウム in 和歌山

～200歳の語り部ー巨大地震と津波を考える～

2023年3月18日(土)

広村堤防

稲むらの火の館(濱口梧陵記念館・津波防災教育センター)

広川町民会館

和歌山県有田郡広川町広572

参加
無料

定員
100名

「稲むらの火の館」は170年程前、幕末の旧暦11月5日夕暮れに起こった安政南海地震と津波災害を現在まで語り続けています。濱口梧陵翁の巨大地震津波直後からの軌跡を顧みた上で、心に響き残るICT技術の進化を含めた多様な語り継ぎとその手法、次の災害への備えを皆さまと一緒に考えます。



広村堤防



【プログラム】

■3月18日(土)

【第1部】10:00～11:00 広村堤防 語り部まちあるき

【第2部】11:00～12:00 稲むらの火の館 見学
＜濱口梧陵記念館・津波防災教育センター＞

【第3部】13:15～15:00 広川町民会館 シンポジウム

●開催挨拶 実行委員長 山地 久美子

●歓迎挨拶 広川町長 西岡 利記

●パネルディスカッション「200歳の語り部ー巨大地震と津波を考える」

崎山 光一 (稲むらの火の館館長)

杉本 伸一 (雲仙岳災害記念館館長)

米山 正幸 (北淡震災記念公園総支配人・野島断層保存館)

リチャード・ハルバーシュタット (震災遺構・門脇小学校館長)

池田 尚弘 (広川町教育長)

金 千秋 (エフエムわいわい代表理事)

平林 英二 (人と防災未来センター企画ディレクター)

【第4部】15:10～16:40

【分科会1】全国の災害語り部の取組みと歴史

【分科会2】文化・社会の語り部～平時からの取組み

【第5部】16:45～17:00 総括・「和歌山語り部宣言」

展示

- 全国・海外の被災地 語り部の取組み パネル紹介
- 災害体験を伝える被災者の作品
- 語り部ぼうさい俳句

プログラムの詳細・参加申込方法は裏面をご覧ください



シンポジウムHP

▶ <https://www.nojima-danso.co.jp/kataribe/>

▶ <https://forms.gle/qNuC3K7cYxQZvTBM7>



申込フォーム

無料マイクロバス【特別運行】 予約制

JR湯浅駅 ⇄ 稲むらの火の館 又は 広川町民会館

往路 JR湯浅駅 発	復路 広川町民会館 発
① 10:45 → 稲むらの火の館	④ 17:30 → JR湯浅駅
② 11:55 → 稲むらの火の館 広川町民会館	⑤ 18:00 → JR湯浅駅
③ 12:55 → 広川町民会館	

■主催:「第8回全国被災地語り部シンポジウム in 和歌山」実行委員会

(稲むらの火の館/野島断層保存館/北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア/オペラ・ディ・フィオーレ FMわいわい/多文化と共生社会を育むワークショップ/雲仙岳災害記念館/南三陸町地域観光復興協議会)

■共 催:学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽) 課題番号20K20781

◆特別協力:株式会社ほくだん 南三陸ホテル観洋

◆後 援:和歌山県 和歌山県教育委員会 広川町 広川町教育委員会 時事通信社和歌山支局 共同通信社和歌山支局

NHK和歌山放送局 テレビ和歌山 和歌山放送 FM和歌山 朝日新聞和歌山総局 読売新聞和歌山支局 毎日新聞和歌山支局 産経新聞社 神戸大学地域連携推進本部 大阪公立大学地域防災センター

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため定員数を調整して開催します

【プログラム】

第1部 10:00~11:00 広村堤防

語り部まちあるき 広川町日本遺産ガイドの会 熊野 享・坂井 竹男

第2部 11:00~12:00 稲むらの火の館

濱口梧陵記念館・津波防災教育センター 見学 [入館料は実費]

シンポジウム 広川町民会館 受付開始 12:15~

第3部 13:15~15:00 2階 大研修室

開催挨拶 実行委員長 山地 久美子 (神戸大学地域連携推進本部特命准教授・大阪公立大学客員研究員)

歓迎挨拶 広川町長 西岡 利記

パネルディスカッション 「200歳の語り部ー巨大地震と津波を考える」

パネリスト 和歌山県 崎山 光一 (稲むらの火の館館長)
長崎県 杉本 伸一 (雲仙岳災害記念館館長)
兵庫県 米山 正幸 (北淡震災記念公園総支配人)
宮城県 リチャード・ハルパーシュタット (震災遺構・門脇小学校館長)

コメンテーター 池田 尚弘 (広川町教育長)
金 千秋 (エフエムわいわい代表理事)

コーディネーター 平林 英二 (阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター企画ディレクター)

【総司会】 宇和 千夏 (エフエム和歌山)

第4部 15:10~16:40 2階 大研修室・1階 集会室 I

〔分科会1〕全国の災害語り部の取組みと歴史

安政南海地震 佐々木 博子 (広川町日本遺産ガイドの会)
昭和南海地震 浅里 耕一郎 (田辺市文化財審議会委員長)
阪神・淡路大震災 黒谷 静佳 (北淡震災記念公園震災の語りベボランティア)
東日本大震災 伊藤 俊 (南三陸町町議会議員)
紀伊半島大水害 浅里 耕一郎 (新庄郷土誌作成委員会編集長)

コメンテーター 照本 清峰 (関西学院大学建築学部教授)

司会 森 康成 (北淡震災記念公園震災の語りベボランティア)

〔分科会2〕文化・社会の語り部 ~ 平時からの取組み

徳島県 徳島県立南部防災館 館員 中山 美紀子
宮城県 南三陸ホテル観洋 女将 阿部 憲子
和歌山県 エフエム和歌山 理事長 山口 昭昌
和歌山県 白浜町文化財審議会委員 玉田 伝一郎 (元紀州博物館学芸員)

司会 山地 久美子

第5部 16:45~17:00 2階 大研修室

報告・総括 実行委員 池本 啓二 (野島断層保存館部長)

閉会 「和歌山語り部宣言」 副実行委員長 阿部 隆二郎 (南三陸町地域観光復興協議会会長)

【展示】 ■全国・海外の被災地 語り部の取組み パネル紹介 ■災害体験を伝える被災者の作品 ■語り部ぼうさい俳句

シンポジウム参加申込書 E-mail:20230318kataribe@gmail.com FAX:0737-64-1761 3月15日(水)まで

Form with fields for name, address, email, and participation options for various events.

(昼食弁当・お茶(セット700円)を希望する方) ①シンポジウム参加申込みと同時に注文してください ②事前申込者へ当日、シンポジウム受付で代金と交換で昼食弁当・飲料をお渡しします
③広川町民会館2階大研修室会場を着席・黙食用で持ち出しできません ④食物アレルギーのある方にはご提供できません
※当日に体調不良の方は参加をお控えください/マスクの着用・検温・手指消毒にご協力お願いします ※(マイクロバス予約)及び(語り部まちあるき)の集合場所・時間は受付後にお知らせします
※社会情勢に応じて開催内容を変更する場合があります/ホームページをご確認ください https://www.nojima-danso.co.jp/kataribe4.html

■お問合せ 第8回全国被災地語り部シンポジウム in 和歌山 実行委員会事務局 TEL:080-1483-6641